

## 春日部夏まつりの「有料観覧席」はなぜ中止になったのか？



山口 剛一  
議員

「春日部夏まつり」についてお伺いします。今年の夏まつりでは、昨年、新たな事業として実施された「有料観覧席」の中止が決まったと伺っています。昨年の市議会では「市としては、有料観覧席販売の収益を活用することで、今後の夏まつりが実行委員会により安定的に運営されることを期待しています。」と答弁されていました。有料観覧席事業の中止となった理由について伺います。

また、複数の自治会長から昨年、突然決まったこの事業は「誰が決めたのか？」という声を聞きますが、市長が指示したのでしょうか？

### ○環境経済部長

今年の夏まつり実行委員会においても、有料観覧席の設置に係る議論が重ねられましたが、実行委員の方から、安全面に対する不安の声が上がったこと、そして収益に対す

る問題点が指摘されたことなどにより、今年の有料観覧席の実施は見送る判断になったものです。

### ○市長

昨年の有料観覧席については、近年、各地の祭りでも有料観覧席が設けられていることを受け、夏まつりの観光資源としての魅力、価値を高めるとともに、翌年以降もお祭りに来ていただくことを目的に、観光協会から実行委員会に提案し、実施されたものです。

### このほか

○多額の費用が予想される廃棄物処理施設の更新について

## 教育現場における働き方改革について



伊藤 一洋  
議員

近隣自治体の中には、スクールサポートスタッフの全校配置がまだできていない市町もあると聞きます。そのような中で今回、教育委員会には頑張っていた、スクールサポートスタッフの全校配置をしていただきました。しかしながら、大規模校、

小規模校など、各学校により児童、生徒の数も違います。そのようなことから、今後スクールサポートスタッフを増員する考え、また教育現場の働き方改革の展望について、教育長にお伺いします。

### ○教育長

児童生徒数や教職員数に比例して事務量の増える業務がある一方、学校規模にかかわらず同様にいう業務もあり、小規模の学校では、一人の教職員が複数の業務をこなさなければならぬという実情もあります。今後も加配など教職員の増員を県に要望するとともに、パートタイム職員の増員を目指し、働き方改革を進めたいと考えています。

働き方改革の目的は、教職員が真にこどもと向き合う時間を生み出し、よりよい教育を行うことと考えます。今後とも保護者や地域、市民の皆さまのご理解、ご協力をいただかななくてはなりません。その上で働き方改革を含めた教育環境の充実に取り組んでいきます。

### このほか

○市制施行20周年記念事業における『クレヨンしんちゃん』の活用について

## 一ノ割駅周辺のまちづくりについて



木村 圭一  
議員

一ノ割駅は市内8駅の中で2番目に乗降客数が多いことから駅利用者の利便性を改善させるために、これまで何度か議会に取り上げていますが、これまでの答弁でも、繰り返し一ノ割駅の橋上化と周辺のまちづくりを一体的に進める回答ですが、相当の時間を要する事や、その間、利用者への不便を強いられる状況から、議会では令和5年9月に「一ノ割駅西口に改札口の設置を求める請願」が提出され、全員一致で採択されています。

その後の対応について伺います。また、市長は今後、どのようなリーダーシップを発揮して一ノ割駅利用者の利便性向上を含めた周辺のまちづくりを進めていくのか伺います。

### ○都市整備部長

地域住民の方々への対応は、自治会の代表者の方と直接会い、意見交換を行っています。また、令和7年5月25日には、

地域住民の方々との意見交換を実施しており、地域の課題の共有を図っています。

### ○市長

現状において一ノ割駅については、駅周辺道路が狭く、駅利用者の安全性や駅前広場などによる交通結節機能がなないという大きな課題があります。故に駅周辺における利便性の向上を図るには、西口改札を設置することが効果的であると考えています。

### このほか

○道路管理について

○精神疾患を抱えている方への窓口応対強化について



一ノ割駅改札

市民生活と行政をつなぐ  
民生委員・児童委員の  
改選について



水沼日出夫  
議員

民生児童委員欠員地区の早期解消に向けた、今年度一斉改選への取り組みや改正点、考え方を伺います。

○福祉部長

一斉改選への取り組みは、民生児童委員の役割負担軽減として、令和4年度まで民生児童委員の方には、75歳以上の高齢者のみの世帯に対し緊急連絡先などの調査をお願いしていました。令和5年度に調査を廃止し、現在は高齢者支援課で対応しています。

また、欠員地区の早期解消に向けては、一斉改選までの3年間で退任者が自主的に後任の方を探すことに加え、地元自治会との連携協力体制をもつて、これまで以上に早期の欠員地区解消に向け、取り組みを進めていきます。

改正内容については、現在の民生児童委員で令和7年12月1日時点で78歳未満の方の担当地区に78歳未満の適任者

がおります、本人の同意と意欲があれば78歳以上でも3年間に限り再任できることとなりました。

県内では、欠員地区に対応している民生児童委員の方に活動費を支給している自治体もあることから、他の自治体の取り組み内容を確認し、支給方法について一定の基準を設けるなど対応について検討していきたくと考えています。

このほか

○自治会集会所等における活動の現状と課題について

○河川等の氾濫域における流域治水の自分事化について



民生委員・児童委員の連携（イメージ）

要支援・要介護認定の  
認定期間について



石川 友和  
議員

国は要介護認定などの結果について法定期間として30日以内に通知するよう定めています。そこで、以下伺います。

①本市において要介護認定などの結果が出るまでの平均日数について。

②介護認定審査会などの事務処理期間は、本市は、令和5年度は、27・4日かかっている現状があるが、審査会の効率化・迅速化のための取り組みについて。

③時間短縮に向けて、オンライン会議形式の導入について。

④要介護認定などの結果が出るまでの期間短縮に向けての、目標設定や体制の改善についての今後の意気込みについて。

○健康保険部長

①令和6年度申請分の実績では、判定した8823件にか

かる平均日数は44・7日、約1か月半となっています。

②他自治体の状況について調査研究し、本市に合った取り

組みを検討することは重要であると考えています。

③他自治体の導入状況やその効果について情報収集し、期間の短縮や審査会委員の負担軽減などの効果について検証するとともに、委員の皆さまの意見なども伺いながら調査研究していきたくと考えています。

④他自治体に比べ、日数を要している介護認定審査会などの事務処理期間について、まずは審査会を12合議体に拡大したことによるメリットを生かして、短縮を図っていきたくと考えています。

学校給食費  
無償化について  
市長の見解を問う



並木 敏恵  
議員

学校給食費については、憲法第26条で義務教育はこれを無償とするとうたわれていることから、本来国の制度として行われるべきです。

しかし、現状はそうではない中、市長の選挙公約でもあり、市として無償化に踏み出すべきと考えますが、市長の

考えを伺います。

これまでも財源確保が課題と言ってきましたが、確保する努力なしには生み出せません。財源確保の考え方、また段階的にでも踏み出していく考えはありますか。

○市長

未来を担う子どもたちが幸せにすくすく育っていくことを本気で応援していく必要があると日々考えており、その一つの支援として、学校給食費の無償化を段階的に目指していきます。

子育て支援は給食費無償化だけでなく、医療費18歳まで入院通院無料化など幅広く実施しています。限りある大切な財源の配分を幅広い視点でしっかり見極めたいと考えており、段階的なさらなる無償化に当たって、国の動向、施策の優先順位、緊急性などを考慮し、現在判断しているところです。

また、地域間格差を生じさせないために、国で統一的に実施することを要望していきます。

このほか

○放課後児童クラブの指定管理者制度をやめて直営に  
○市民の投票権の保障を

## 北春日部周辺の まちづくりについて



阿部 雅一  
議員

内牧地区まちづくり研究会で、朝日バスについて北春日部駅発着または経由によって利便性が格段に上がり、利用者が増えるとの声が出ています。

今後、北春日部駅前に商業施設ができることに伴って、北春日部駅に行けるバス路線の開通が望まれるところです。イベント時には2500人の来場者をほこる内牧公園もあります。駐車場のキャパシティが追い付かず、1時間に1本でもバスがあればとの声もあります。

今後の北春日部駅西口周辺のまちづくりに合わせ、朝日バスの新たなルート設定や既存ルートの見直しなど、公共交通の強化を検討する予定があるのか市の見解を伺います。

### ○都市整備部長

現在、内牧地域を運行しているエミナース線につきましては、利用者の減少により経

営が非常に厳しい状況となっており、他の路線の収益の補填により運行を継続している状況であると伺っています。

朝日バスが北春日部駅に乗り入れることにより、沿線地域から駅へアクセスしやすくなるなど、一定の効果が見込めるといふふうに考えています。今後の土地区画整理事業の進捗やエミナース線の利用状況などを見極めた上で判断していきたいと考えています。

### このほか

○春日部市立医療センター経営強化プランについて

**全市をあげて  
誰もが自由に移動できる  
まちづくりを**



大野とし子  
議員



誰もが自由に移動できる交通権の保障は、自分らしく生きるまちづくりの基本です。全市をあげて取り組むことを求めます。

交通空白地域にアンケートを取り、ニーズを把握し、皆さんと考えていくことでありますが、デマンド交通の要望が

あつたら検討すべきと考えます。

春タク制度を福祉部や市民生活部で行い、距離制限をなくし、高齢者や免許返納者の移動手段を確保すべきと考えます。

市民が自由に移動できるように、財源も充て、市の中心施策にしていくべきと考えます。

以上3点について、市の認識を伺います。

### ○都市整備部長

デマンド交通は、専用車両と運転手の確保が必要となり、公費負担が高くなることもあるなど、慎重な検討が必要と考えています。

### ○福祉部長

春タクを福祉施策で行う場合は、対象者の選定や費用対効果の観点などから、十分な検討が必要と考えています。

### ○総合政策部長

総合振興計画に公共交通ネットワークの形成を位置づけているので、公共交通を利用できるよう各種施策の取り組みを進めていきます。

### このほか

○校内教育支援センターの拡充で、こどもたちの心と身体の居場所の確保を

## リチウムイオン電池の 処分方法について



鬼丸 裕史  
議員



リチウムイオン電池は、多くの電子機器に搭載されている反面、衝撃に弱く発火しやすいという弱点があり、使用済みのリチウムイオン電池が正しく廃棄されず、ごみ処理施設やごみ収集車の火災が全国で発生し、社会問題となっています。

そこで、以下伺います。

- ① 処分方法について。
- ② 捨てる時の注意点について。
- ③ リチウムイオン電池を内蔵した小型家電製品の捨て方について。

### ○環境経済部長

① リチウムイオン電池やモバイルバッテリーは、一般社団法人JBR Cに登録された回収協力店へ持ち込むことで処分することができます。海外製や破損などで回収協力店を利用できない場合は、瓶、缶、ペットボトル、有害危険ごみの日に危険ごみとして赤色コンテナに排出していただくよう案内しています。

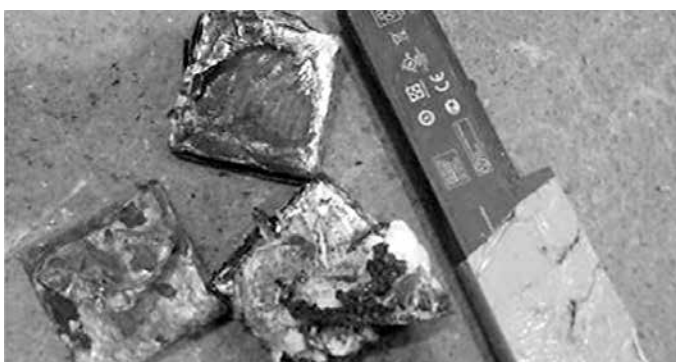
う案内しています。

② 電池類については、セロハンテープで電極を覆うなどして電極を絶縁し、透明のビニール袋へ入れるようお願いしています。また、雨天時の排出はなるべく避けるよう重ねてお願いしています。

③ 20センチメートル以下の小型家電製品については、リチウムイオン電池単体と同様に有害危険ごみとして赤色コンテナで回収しています。

### このほか

○『クレヨンしんちゃん』ミニメントの設置と観光客の回遊性について



発火したリチウムイオン電池

## 観光振興について



吉田 稔  
議員



「クレヨンしんちゃん春日部スタンプ巡り」のスポットであるハルカイト・道の駅「庄和」・春日部市役所・ぷらっとかすかべなどに数多くの外国人観光客が増えてきていると感じています。

そこで、以下お伺いします。  
①春日部市の観光の状況について

②外国人観光客の訪れるスポットについて

③ハルカイトの今後の取り組みについて

○環境経済部長

①令和6年度の外国人観光客は、首都圏外郭放水路において前年度比の1・7倍となる約8000人、ぷらっとかすかべが前年度比3倍となる約2万5000人へといずれも大幅に増加している状況です。  
②主な来訪先として、「首都圏外郭放水路」、そして『クレヨンしんちゃん』関連のスポットとなる「ぷらっとかす

かべ」、道の駅「庄和」、大風文化交流センター「ハルカイト」など、市の施設や店舗などが挙げられます。

③今年度は市内外の小学校の社会科見学を積極的に受け入れ、春日部が誇る大風文化をこれからの若い世代へ伝えていくとともに、首都圏外郭放水路とセットでの誘致も進めていきたいと思っています。また、現在、たこづくりとたこ揚げ体験、土器焼き体験などの事業を展開しています。

このほか

○ごみ焼却施設の近隣協力について



## 短時間労働時のこどもの預かりについて



会田 吉幸  
議員



小学校低学年児などを、自宅内であっても火を取り扱う場所があれば、ベランダにも出してしまうなど、一人で留守番をさせるにはかなりの不安があり、難しいと思います。

本市において、共働き世帯が増加する中、夏休みなどの長期休暇期間を含め、保護者の短時間労働、例えば週3日、1日3時間の午前中のみのパートをしている児童の保護者に対応する、こどもの預かりサービスの不足が子育てと就労の両立を困難にしているとの声が寄せられています。

そういったパートをしている保護者の方は、夏休み期間中は一時的にパートを辞めざるを得なくなってしまう。短時間労働であっても大きな収入であり、その収入によって、こどもを遊びに連れて行ってあげられることが可能になる収入だと思っています。短時間労働の保護者向けに、

こどもの夏休み期間中だけは午前中のみ、午後のみといった時間帯を限定した短時間利用枠や週に数日といった柔軟な利用を検討すべきだと考えますが、市の認識を伺います。

○こども未来部長

短時間労働の保護者を対象にした、夏休み期間中の預かりサービスですが、今後、他の自治体の動向などを注視しながら調査研究していきたいと考えています。

このほか

○市内スポーツ大会における春日部市の代表として遠征した場合の支援について

## 複合商業施設のオープンを生かして



古沢 耕作  
議員



このほど、春日部駅東口からほど近い、かつての旧商工振興センター跡地に、複合商業施設「コープかすかベテラス」がオープンしました。

昨年、市民の皆さまに長年親しまれてきたイトーヨーカドー春日部店が閉店し、東口側でも駅前のスーパーマーケット

ットが閉店するなど、寂しい話題が続いた中で、同施設の開設は本市にとって久しぶりに明るいニュースと言えます。そのことを踏まえ、まずは同施設の概要を伺います。

次に、この機を捉え、ぜひ経済面での元氣、活性化につなげてほしいと考えています。が、その点について市の考え方を伺います。

○環境経済部長

同施設は駅東口から徒歩7分の場所にある地上3階建ての建物です。本市と国、また民間（生活協同組合コープみらい）の3者による官民連携手法を用いており、市が所有する土地を民間に長期間貸し付け、建物の整備運営は民間が行っています。テナントには、食品スーパーのほか、歯医者や美容室、また、春日部労働基準監督署、春日部公共職業安定所などがあります。

この施設を春日部駅東口周辺地域における新たな商業交流拠点施設として位置付け、関連する諸団体の方々と連携を図りながら、にぎわいの創出につなげていきます。

このほか

○選挙イヤーにおける投票率向上策を問う